



第47回例会

平成20年6月19日(木)
土湯温泉 観山荘

本日のプログラム

GSE報告会 1.開会点鐘 2.RCソング「奉仕の理想」 3.4つのテスト 4.会長挨拶 5.博多義雄ガバナーノミニー挨拶 6.幹事報告 7.閉会点鐘

来月のプログラム

7月 2日(水) クラブ協議会(会長、幹事挨拶前年度表彰)
7月 3日(木) 会長、幹事、報道機関表敬訪問
7月 9日(水) 平井ガバナー補佐クラブ訪問
7月16日(水) クラブ協議会 委員会活動計画発表
7月23日(水) クラブ協議会 委員会活動計画発表

会長挨拶

武藤 正隆会長



梅雨明けを よろこぶ蝶の
後をゆく(杉山 岳陽)
やっとな梅雨が明けたかと思える薄晴れの小径をひらひらとよろこぶように目の前をまるで案内するように飛ぶ蝶と一緒に道行きを楽しんでいますよといった句です。さて、いよいよ恒例の新旧役員交替歓送迎会の日を迎えるところまで到達しました。私を支えてくださった多くの役員と会員の皆様から感謝申し上げます。次年度新役員となられる方々が、廣澤会長を中心に新しい考えや風を起して、福島南ロータリークラブらしい楽しい活動をさらに展開することを期待しております。また、今宵は1ヶ月にわたるGSE代表を見事に務められた齋藤浩会員のご苦勞と功績を讃えて、大いに宴を楽

しみたいと願っております。もう一度、会員の皆様と事務局の暖かいご支援に心から感謝申し上げ、挨拶とさせていただきます。

博多義雄ガバナーノミニー挨拶



7月1日より正式にガバナーノミニーに指名されます。私自身、ロータリーについてまだ勉強不足の点がございまして、いろいろな面で不十分なところがございますので、皆様のご理解、ご協力、ご支援がございませんと、とても務まらないと思っています。皆様のご協力を頂きまして、精一杯努めたいと思いますので、宜しくお願い致します。

新旧委員会歓送迎会 土湯温泉 観山荘



GSE派遣報告会 齋藤 浩GSE Team Leader



御蔭さまで一ヶ月にわたるアメリカ・アリゾナ州・第5500地区での研究グループ交換プログラムも無事終了したので、メンバーの山岸君と共に報告します。

県内で職業に就いている若いメンバー3名と共に成田空港を出発したのは4月24日の午後5時半で、最終目的地のツーソン国際空港に着いたのは同日の午後3時半でした。空港に出迎えてくれたのは地区ガバナー、地区GSE受け入れ委員長、そして昨年9月～10月受け入れたGSEリーダーのドレイク氏の3名でした。3台の車に分乗してガバナー宅へ。パストガバナーのご主人、ホストの家族、子供、孫含めて20人程で我々の歓迎パーティとなった。会話が花が咲き、早速その晩からそれぞれのホームステイに分宿となった。これからの30日、どんなハプニングが待っているやら、不安と期待で床につく。翌日からは地区内の六区を転々と移動しながら観光、職場訪問、事業所見学と連日のスケジュールに圧倒されながら、日本へ、福島へ、クラブへ経過報告する間もなく、あっという間に24時間が経過していった。楽しくもあり、苦しくもあり、世話してくれるロータリアンの友情あふれる活動に感謝しながらも、兎に角フリータイムが欲しいなあと異口同音に漏らしながらの毎日でした。そんな中で第一に感じた事は、全てのサイズが日本とは比べようもないという事だ。土地はべらぼうに広く、見渡す限り一軒の家もない。直線の道路が何時間も続く。全般に砂漠で、山も平地も殆ど植物がない、川幅50メートルもある川

には水が流れていない。一ヶ月の滞在中一滴の雨も降らず、高地の林には気温100度F、火災発生頻度Highと標示され、湿度は20パーセント以下の連続だったが、殆どの平地では燃える木もない。毎日水のボトルを鞆に、車に持ち運び、日に5本や6本は消化した。それでも汗は出ない。都市部においては木々も見られるが、針葉樹ばかりで広葉樹は殆ど見られない。土地は広く余裕があって、人口100万のツーソン市に於いても平屋建てが99パーセント以上だ。事前におおよその事は承知してしたが、目の前にする現実とは想像以上のものだった。正に百聞一見にしかずだった。隣国のメキシコとは何百キロもの国境線で区切られているが、不法侵入者、麻薬の流入等に対してのボーダーパトロールは厳しく、国境線を何台ものモニターで監視している本部も見学したが、周囲が海に囲まれている穏やかな日本とは異なって、空には24時間見張ってる飛行船も異様に感じられた。じっくり時間をかけて30日分の報告をしたいところですが、今日は感じたところの一部を報告するに止めますが、機会ある度に放出して行きたいと考えております。本日はご静聴有り難うございました。

福島南ロータリーコンペ

6月8日(日) 民報コース

優勝	博多義雄会員	会長取切戦
準優勝	植木洋司会員	博多義雄会員
3位	宍戸英男会員	菅野和宏会員
		植木洋司会員

編集担当 大野順道